



さん が

第一一八号

令和 五年

西暦 二〇二三年

孟蘭盆七月号

曹洞宗 東運寺

京都市伏見区淀新町六一八一

TEL 〇七五-六三一-二二七二

FAX 六三一-五七二五

E-MAIL sanga@tounji.net

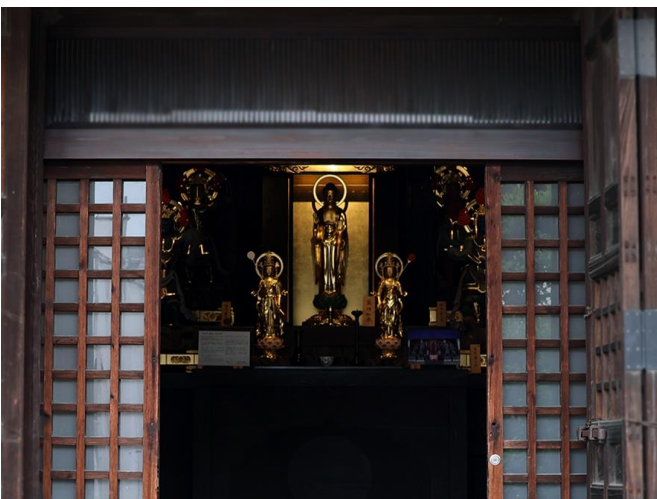
お薬師さまと、薬師堂の内部が修復されて、二年半がたちました。多くのみなさまが、お参りくださったことと思います。

東運寺の薬師像はかなり古いもので、聖徳太子が彫った、という伝説まであります。じっさいは、藤原時代（平安時代後半）の特徴をしているとのこと。

いずれにしても、江戸初期に今の位置に始まった東運寺より、はるかに長い歴史をへて、今に伝えられています。ずっとその間、人々の祈りに向きあってこられたことは、間違いがありません。

お薬師さまは、この世を安心して生きたいという願いに応える、と信じられてきました。『薬師経』という經典には、この世の人々に安心を与えるため、お薬師さまがお立てになった、十二の誓いが記されています。

コロナ禍は収まりつつあっても、その影響は深く長く、不安なお気持ちも続いていることがあろうかと、拝察します。そういうときは、どうかお薬師さまにお参りし、語りかけてみてください。お薬師さまに、悩む自分をお任せになってみてください。その苦しみ、善き人生を送るための糧となるよう、お薬師さまは見守り、共に歩んでくださいます。



お薬師さまのご縁日は八日。来たる七月八日のお盆法要の日には、薬師堂の扉を開けて、お待ち申し上げます。

さる四月八日、新しくお迎えした花御堂のお披露目もかねて、花まつりのおつとめをいたしました。

東運寺では、久しぶりの花まつりです。

総代さまのお話しでは、およそ六十年ぶりとか。午前十一時からかんたんな法要を行い、十名ほどのお参りをいただきました。

それ以外の時間でも本堂を開けて、甘茶をかけていただけるようにいたしました。お参りくださったみなさま、本当にありがとうございました。



今後は、毎年四月の第一土曜日に、おなじようなおまつりをしていく予定です。

良い一年でありますことを願って、どうぞお気軽に、お祝いにお越しくださいませ。

七月八日の施食会（お盆法要）は

久しぶりにもとの形に戻し、ご法話の時間を取り、大勢のお寺さまによるおつとめをいたします。

午前十時より始まり、十一時半くらいに終わります。

当日はお赤飯のお供養をお配りしますが、お寺でのお食事はできません。どうかご了承ください。

お盆の棚経は

一部変更がありますが、例年とあまり変わらないスケジュールで、お伺いできる予定です。淀近辺以外のみなさまには、このお便りに日時が書かれたご案内を、同封しております。ご確認をよろしく願います。

じつはお寺にも、「曹洞宗の隣組」があり、「教区」と呼んでいます。東運寺は、伏見区から、井手町までのお寺さま方と組になっており、施食会などにも来て頂いています。

その「教区長」のお役を、この春から住職が担うことになりました。

さらに、総代である岩崎義弘様が、教区の護持会の、理事にお就きになりました。ますますのご活躍を、祈念しています。